

札幌市ACSネットワーク：循環器救急疾患の死亡率低減と、100%受け入れ体制の構築を目指して

札幌市ACSネットワーク代表世話人 村上弘則

1. 札幌市ACSネットワークとは

「ACS」という用語は余り馴染みがないかもしれませんが。不安定狭心症と急性心筋梗塞（AMI）を併せてAcute Coronary Syndrome（急性冠症候群；ACS）と言います。私達、札幌市ACSネットワーク（当会）はACSに代表される循環器救急疾患による死亡の低減と、患者の100%受け入れ体制構築を目指して2009年に立ち上げた非営利組織です。

まず、当会の活動の経緯についてご紹介します。当会発足の起爆剤は、臨床心臓血管病研究会による「2003年1年間の札幌市で発症したAMI実数調査」です。皆様のご協力で、病院からの回答率は81%と非常に高率でした。その結果、札幌市では2003年に**800名強のAMIが発生し、AMIの死亡率が12.5%と高率、救急車での病院搬入数と、自力受診（walk-in）の患者数がほぼ同数で、両者の死亡率（救急車13.5%、自力受診9.9%）が同程度であることが分かりました**

（Journal of Cardiology 2007;50:167-174に発表）。札幌市のAMI死亡率は残念ながらかなり高く、東京都の1990年代の死亡率に相当（2007年で6.4%の死亡率）します。原因は、1) walk-inが多く治療開始が遅延、2) 急性期治療可能な当番病院数の不足、が考えられました。そこで、ACS患者を速やかに、しかるべき治療ができる病院へ搬入するシステムの構築と、札幌市民への啓発活動が重要と考えました。札幌市医師会と協議を重ね、2010年2月に、札幌市医師会、札幌市保健福祉局、札幌市消防局、札幌市循環器・呼吸器二次救急参画22病院と北海道大学医学部、札幌医科大学医学部の計24病院が合同会議を開き、「札幌市ACSネットワーク」を作りました。

当会の理念は

- 1) 循環器救急疾患患者の速やかな病院搬入
- 2) 循環器救急疾患の死亡率低下
- 3) 受け入れ拒否のない体制
- 4) 札幌市民への啓発活動
- 5) ホームページによる情報公開
- 6) 学術的検証と評価

以上の6つです。この理念を柱として、以下の4つを活動計画としております。

- 1) 循環器救急当番（土日祭日・夜間）
- 2) 市民への啓発活動：年1-2回の市民フォーラム、AED講習会・医療相談会など
- 3) 学術活動：AMI実態調査、循環器救急患者搬入状況調査など
- 4) 広報活動：ホームページでの活動内容公開

2010年4月1日より、24病院中16病院が自主的に当番病院として参加し、3グループに分けて開始致しました。2010年度後期は2病院が増えて18病院が当番病院として手を上げ、4グループで運営しております。

2. 当会の現在の活動状況とお願い

2010年4月以後、循環器・呼吸器二次救急当番病院と当会当番病院が毎日稼働したことで、日祭日、夜間の救急患者の殆ど全てを受け入れるようになりました。しかし、最近、先生方から循環器・呼吸器二次救急病院との異同や、患者発生時の対応についてご質問を頂くことがあり、一部に混乱も見られるため、この紙面をお借りして、「現在の」循環器・呼吸器二次救急と、当会との関係、違いを明らかにすることに致しました。

以下の表は両者の役割の違いを表しています。

	札幌市循環器・呼吸器二次救急	札幌市ACSネットワーク
1) 現場発生呼吸器疾患	受け入れ	原則受け入れない 二次救急受け入れ困難時 のみ当番病院が受け入れ
2) 現場発生循環器疾患	受け入れ 至近の当番病院に搬入	受け入れ 至近の当番病院に搬入
3) 夜間急病センター・ 病医院からの受け入れ要請	対応し、受け入れ 病医院からのDr to Drでの要請	二次救急から受け入れ要請 がある場合、受け入れ
4) 当番表	公開	非公開；会員病院には通知
5) 当番病院	札幌市医師会二次救急 参加病院	札幌市循環器・呼吸器二次 参加病院からの自由参加

二次救急当番と当会当番の大きな違いは、1) 呼吸器疾患は原則、二次救急が受け持ち、2) 病医院からの応需は二次救急病院が窓口であることです。病医院で発症した循環器救急患者は

、まず、循環器・呼吸器二次救急病院に依頼をお願いします。二次救急が対応できない時は、当会の当番病院が受け入れます。

当会の重要な活動に、市民への啓発活動があります。昨年は日本循環器学会北海道地方会と共催で市民フォーラムを開催しました。本年も2回の市民フォーラムを予定しています。また、東京CCUネットワークを始めとする全国の循環器救急組織との連携を深めてきました。当会の活動はHome page (URLは<http://acsn.web.fc2.com/>) で公開しておりますので、是非一度ご覧になって頂きますようお願いいたします。

3. 当会の問題点

当会は産声を上げたばかりで、まだまだ不備が目立ちます。特に、当番は参加病院のボランティア活動で支えられ、運営資金も各病院の好意で賄われており、独自財源は一切ありません。また、当番は日祭日、夜間に限定され、24時間対応できる体制ではありません。

また、当会の活動を長く持続させるための運営資金は、企業や市民からの寄付で賄う予定です。医師の皆様に限らず、一般の方々でもご寄付頂けるよう、Homepage上に当会の口座を表示します。どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い致します。

1) 寄付の趣旨：札幌市ACSネットワークの運営に係わる寄付

2) 募集期間：平成22年10月～平成24年3月

3) 寄付金払い込み方法

銀行名：北洋銀行 本店 口座番号：普通028-2394308

口座名：札幌市ACSネットワーク 代表幹事 村上弘則

4) 事務局、及び、問い合わせ先

札幌市ACSネットワーク事務局 森山恵理子

手稲溪仁会病院循環器内科内

札幌市手稲区前田1条12丁目

Tel (011) 681-8111, Fax (011) 685-2196

4. 現在の当会参加施設（五十音順）

愛心メモリアル病院、NTT東日本病院、小笠原クリニック札幌病院、勤医協中央病院、KKR札幌医療センター、国立病院機構北海道医療センター、札幌医大医学部附属病院、札幌市医師会、札幌厚生病院、札幌社会保険総合病院、札幌市消防局、札幌循環器病院、札幌心臓血管クリニック、札幌中央病院、札幌東徳洲会病院、札幌市保健福祉局、J R札幌病院、市立札幌病院、新札幌循環器病院、心臓血管センター北海道大野病院、手稲溪仁会病院、天使病院、時計台記念病院、北海道社会保険病院、北海道循環器病院、北海道大学医学部附属病院、北成病院